

第 30 回情報処理センター等担当者技術研究会

共通機器部門 情報基盤機器管理班

中川 敦

1. はじめに

国立大学、公立大学等の情報系センター等に勤務する技術職員が集まる本研究会は、大学における情報システムおよびネットワーク基盤の管理・運用に関する問題点や解決策を議論、共有することができる数少ない機会である。新しい技術を習得し、業務に取り入れ業務の効率化を図るとともに、他大学等の技術職員との繋がりを作るため、本研究会に参加し、今後の研究会運営について討議する運用連絡会議にも参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 30 年 9 月 6 日、7 日

場所：徳島大学 常三島キャンパス （徳島県徳島市）

3. 参加者等

国立大学、公立大学等、あわせて 49 機関より 69 名が参加した。

4. 研修内容

いろいろな大学の現状報告やポスター発表を聴講して、各大学の取組みとそれにつわる課題や対策について考える機会を得た。研究会の後半には意見交換会があり、各大学の情報処理センタ

—業務を円滑に進めるための工夫等を知ることができた。

5. まとめと感想

運用連絡会では、今後の技術研究会運用の方向性について話し合い、今後も継続して検討していくこととなった。技術研究会では、サイバー攻撃が増えている世相を反映してか、セキュリティ対策に関する発表が多くみられた。中でも、届いたメールがどの点で不審かを判定し、提示してくれるツールの作成を試みた発表には大変刺激を受けた。一般利用者から「なんとなく怪しいメールだと思うんですが、怪しいですよね？」と質問を受けることがあり、一般利用者が気軽に確認・判断することができるようになる上、センター担当者の手間がかからなくなるという点において、とても有用だと感じた。